



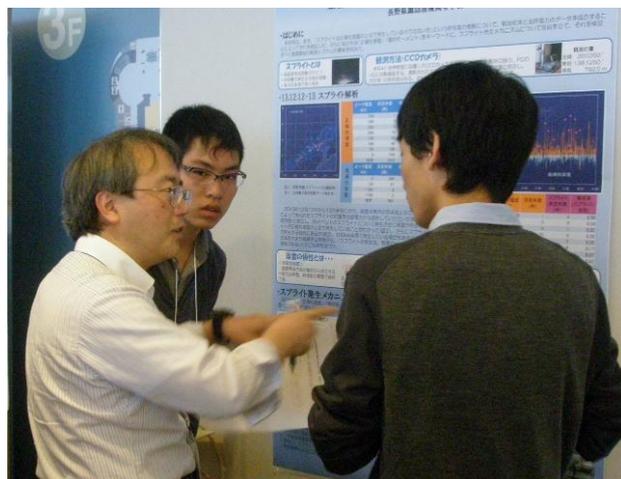
新年度のSSH活動が始まりました

～ 附属中学校が開校、中学校・高等学校新生を迎えて第3期5年目がスタート! ～

☆ 日本地球惑星科学連合大会 2014 高校生のポスター発表に参加しました ☆

4月29日から横浜市みなとみらい地区パシフィコ横浜で開催されている「日本地球惑星科学連合大会2014」の高校生のポスター発表に、3年生の根橋君はじめとする天文気象部部員と2学年SSHコースの生徒計5名が参加し、昨年度1年間の研究してきた「高高度発光現象スプライト(3)～正極性落雷との関連性と落雷電波の受信機の製作」のポスター発表をしてきました。

ポスター発表には、高校生のみならず学会に参加されている大勢の大学や研究機関の研究者や大学院生などの皆さんが立寄っていただき、有意義なアドバイスを下さいました。ご助言を糧にして7月の文化祭、2月の課題探究発表会に向けて研究を進めるとのことです。



以下は、発表者の一人天文気象部(2年SSHコース)の平林君の手記です。

高校生はもちろん大学生や専門の先生方に私たちの研究を発表する機会を頂いたうえ、たくさんの質問や助言を頂くことができました。なかでも、北海道大学の高橋教授には貴重なご意見を頂きました。観測したデータの時刻や値には誤差があることを考慮すること、提示する図表には誤差を明示すること、実験の方針やデータを正確に実験ノートに記録しておくことなど、ご助言を頂きました(先生には私たちのポスター一つ作るのにも、実験ノート3冊分くらいのデータがあったのでしょうか、と言われました)また、研究をするにあたっての姿勢についてもご助言を頂きました。「何にでも疑いを持って研究しよう」という言葉は特に印象に残りました。理科の研究のみならず、いろいろな場面や科目の勉強でも当てはまるのでは思いました。今回ご指摘を受けたことを胸に今年度の研究を進めて、来年度のポスター発表で成果を発表したいと思います。

☆ 附属中学校開校 中学校科学クラブ希望者と

高等学校科学系クラブの見学・交流会開催 ☆



4月5日(土)に諏訪清陵高等学校附属中学校の開校式及び入学式が男女各40名、80名の新生を迎えて催されました。

入学生一人ひとりの眼差しには附属中学校に集った仲間とともに真摯に学び、自己実現を図りたいという強い意志が感じられました。4月22日(火)には中学校に新たに設立された科学部に加入希望の男女22名が、高等学校の科学系クラブ(物理、化学、生物、天文気象、数学等)の日常活動を見学しました。

生物部では、諏訪湖の湖心と岸辺のプランクトンの種類と個体数のカウント調査の現場に立ち会い、初めて見るミクロの世界に感動していました。

また、天文気象部では、日常的に実施している太陽の黒点観測の様子を実際に望遠鏡を前に高校2年生から説明を受けました。中学校の科学部は高校生の助言を受けながら独自に活動を始める予定です。

